



電気使わずに湿度を下げる

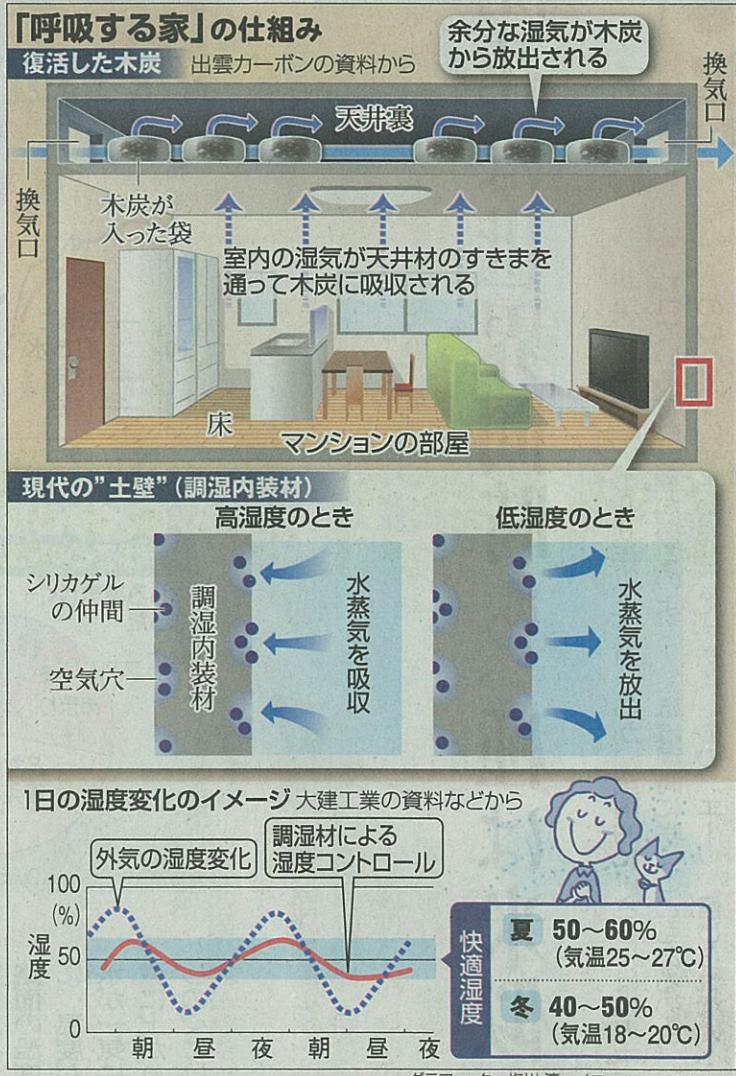
省エネにもぴったり「呼吸する建材」

今年も節電の夏がやってきました。じめじめした湿気は不愉快なだけでなく、アレルギー症状を招くダニやカビを繁殖させます。電気を食うエアコンをなるべく使わずに部屋の湿度を下げたい方、「呼吸する建材」に目向けてはいかがでしょうか。

は快適でも、人がいない部屋や玄関、押し入れなどには湿気が流れ込む」と、同協会の長谷川賢司・調湿部会長はいう。調湿建材は、家の気密性と湿気対策を両立し、結露を防止しようという製品。現在18社で25件が登録されている。さらに東日本大震災の後には、その節電効果も注目された。

「日本建材・住宅設備産業協会」(東京都中央区)が、「調湿建材」の技術基準を5年前につくったと聞き、訪ねてみた。

調湿とは湿度を自分で調節する機能だ。調湿建材は、70%を超えるような高湿度では空気中の水蒸気を吸い、50%を下回る低湿度では水蒸気を放出する。建材に調湿機能があれば室内を快適湿度の範囲に収めやすい。木材や畳、土壁といった古来の建材は調湿機能を備えていました。かつての日本の家は風通しも良く、夏の多湿や冬の過乾燥に適応していた。ところが、サッシ窓や樹脂で覆った内装材なども普及して、家の気密性が上がると調湿能力は失われた。「エアコンが効いている部屋



インフォメーション

多くの調湿建材は、湿気だけでなく、悪臭やホルムアルデヒドなどの化学物質も吸着できる。なかには、化学物質を分解する加工を施しているものもある。

日本建材・住宅設備産業協会のホームページ(<http://www.kensankyo.org>)の事業案内に、調湿建材登録・表示制度の説明や登録製品の一覧がある。

張り、さらに断熱内窓を増設した部屋と、ふつうの内装と窓の調湿建材の部屋はエアコンをして炭素以外の不純物をなくして、木炭の調湿能力を向上させた。マンションの床下と天井裏に設定し、実際の室温も一度ほど高かった。しかし湿度は逆に5%ほど低くなつた。両方の部屋で生活した10人中7人が、調湿建材の方が快適と答えた。同社総合開発研究所の佐藤友紀さんは「建材の分だけでも10%節電になつた」とみる。材料

費は10万円程度だった。調湿建材として、木炭の再評価も起きている。島根県出雲市「出雲土建」と島根大が共同で開発した「炭八」だ。昔の城や屋敷では湿気対策として床下に炭俵を並べたが、今はほとんど見られない。炭八は、炭焼きの温度や時間で工夫して炭素以外の不純物をなくし、木炭の調湿能力を向上させた。マンションの床下と天井裏に設定し、実際の室温も一度ほど高かった。しかし湿度は逆に5%ほど低くなつた。両方の部屋で生活した10人中7人が、調湿建材の方が快適と答えた。同社総合開発研究所の佐藤友紀さんは「建材の分だけでも10%節電になつた」とみる。材料

張り、さらに断熱内窓を増設した部屋と、ふつうの内装と窓の調湿建材の部屋はエアコンをして炭素以外の不純物をなくして、木炭の調湿能力を向上させた。マンションの床下と天井裏に設定し、実際の室温も一度ほど高かった。しかし湿度は逆に5%ほど低くなつた。両方の部屋で生活した10人中7人が、調湿建材の方が快適と答えた。同社総合開発研究所の佐藤友紀さんは「建材の分だけでも10%節電になつた」とみる。材料

張り、さらに断熱内窓を増設した部屋と、ふつうの内装と窓の調湿建材の部屋はエアコンをして炭素以外の不純物をなくして、木炭の調湿能力を向上させた。マンションの床下と天井裏に設定し、実際の室温も一度ほど高かった。しかし湿度は逆に5%ほど低くなつた。両方の部屋で生活した10人中7人が、調湿建材の方が快適と答えた。同社総合開発研究所の佐藤友紀さんは「建材の分だけでも10%節電になつた」とみる。材料

張り、さらに断熱内窓を増設した部屋と、ふつうの内装と窓の調湿建材の部屋はエアコンをして炭素以外の不純物をなくして、木炭の調湿能力を向上させた。マンションの床下と天井裏に設定し、実際の室温も一度ほど高かった。しかし湿度は逆に5%ほど低くなつた。両方の部屋で生活した10人中7人が、調湿建材の方が快適と答えた。同社総合開発研究所の佐藤友紀さんは「建材の分だけでも10%節電になつた」とみる。材料